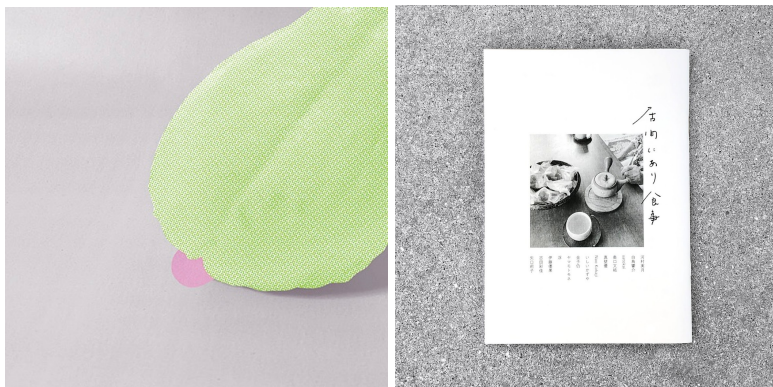


satokai-farm ふれぜんつ☆=

ジ〜ン (zine) な店 (shop)

プロフィール~~~~~



ヤグチリコ

コーヒーと本の近くでデザインの仕事をしています。

<https://ricoyaguchi.tumblr.com/>

ジ~~~~~ン

- ・「居間にあり食事」
- ・「歩」
- ・「私の左手にはいつも」

インタビュー~~~~~

—「居間にあり食事」ってどんなZINE？

もともとはZINEではなく展示を行う予定だったんだよね。「居間」というスペースを運営している方から誘ってもらったことをきっかけに、友人の伊藤優果ちゃんと志田彩佳ちゃんとともにZINEの展示を企画しつつ、「衣食住」をテーマにした私たちのZINEも作ろうと思っていた。でもコロナで延期になり、そのうちにスペースも閉まることになってしまっ。展示開催は叶わなかったのだけどZINEは作りたいね、というところから作り始めた。衣食住だとかなりのボリュームになってしまいそうだったので、3人とも好きな「食」にテーマを絞って、それぞれの友人や知人にエッセイを書いてもらって。エッセイ集にした理由は、単純に好きだったっていうのもあるし、「居間」＝「人が集

う空間」っていうことを意識していたからかもしれない。デザインについては、文章をちゃんと読んでもらうために写真を全部モノクロにして、色を使わなかったことがポイントかな。私はデザインの中で割と色を使ってしまうタイプなので、今回のZINEがこういうデザインになったのは3人で作ったからこそなのかなと思ってる。（ZINE自体の）見た目は綺麗な雰囲気があるけど、丁寧な生活ができなかったり、生活することが苦手だったりする人にも読んでほしいな。私自身、そもそも丁寧な生活を繰り返していくことがあまり得意じゃないから。雑な生活の中でふと思い出して読んでもらえたら嬉しい。

—「歩」ってどんなZINE？

企画と編集は声をかけてくれた熊谷麻那さんがやっていて、私はデザインを担当している。「歩く」をいろんな視点から捉えている新聞で、うまく説明できないけどめっちゃ面白い。個人が真剣な遊びの中で作っているものだから、すごく感覚的。感覚的だから理解が難しいところもたくさんあって、でも形は新聞だからレイアウトはキッチリしていて、、、。そのアンバランスさが面白いんだよね。熊谷さんの持っている感覚を、打ち合わせで世間話とかしながら自分なりに解釈してデザインに落とし込んでいくのも楽しい。これまでのZINEは企画も制作も全部自分でやっていて全て理解して手を動かしていたから、他の人と二人三脚で作っていくのは新鮮な体験。企画した人の意図を汲み取るっていうことの難しさと楽しさを体感してて、これがデザインなんだなと改めて思った。

—「私の左手にはいつも」ってどんなZINE？

私、左手に持っている食べ物の写真を撮るのがいつの間にか習慣化していて。というか「いつも左手に食べ物持っているな」と思った時があって。スマホに入っている写真を集めてみたら結構量があったので、まとめてみようかなと思ったのがきっかけ。でも、いざ完成したら「なんか違うかも」と思って一冊だけ作ってやめちゃったんだよね。ZINEじゃなくてインスタでいいじゃん、とか思っちゃって。ZINEを作り始めて、途中でやめちゃうのは案外これが初めてだったかもしれない。学校でデザインを学んでから初めてひとりで作ったからかな。これまでのZINEはデザインをちゃんと学んでいない状態で作っていたから、今回久しぶりに作ってみたら変なプレッシャーを感じちゃったのかも。デザインする上での荒さ、みたいなものが目につくようになっちゃった。厄介。（デザインの）学校に入学する時も、入ったら気軽にZINEとか作れなくなっちゃうかも、とは思っていたんだけどね。でも一方で、そんな気負わず、このZINEは今の形でもいいのかなとも思う。葛藤してる！難しいね～。

—ZINEを作り始めたきっかけは？

作り始めたのは、会社員になってすぐだったから4年前くらい。ZINEを作っている友達から「ZINEのフリマがあるから一緒に出そうよ！」と言われたのが始まりで、地元の浅草の飲食店をテーマにした「アサクサジン」っていうZINEを作った。その時はIllustratorもIndesignも使えなかったから、パワポを使って手探りでなんとかイベントに間に合わせた。もともとZINEを作りたいと思ってたし、自分の作ったものを世に出すという経験をしたことがなかったので、大変だったけどすごくワクワクしたのを覚えている。「アサクサジン」はなんだかんだこれまで作った中で1番好きなZINEかな。画像も荒いし、デザインも見よう見まねだけど。でも、自分の文章を何回も何回も見直して作った

ZINEだから、1番思い出深い。作ること自体も楽しかったし、「いいね」っていろんな人に言ってもらえて、そこから色々作り始めた。

—ZINEのどんなところが好き？

素人が作っていても安いコピー用紙だったとしても、なんか伝わってくるものがあるっていうか。個人的には文字が多いZINEが好き。アーティストの人が作った作品集みたいなZINEも好きなんだけど、つい買ってしまうのは中綴じでザラ紙の、ダサくても「なんとか形にしよう！」という意気込み？熱意？が伝わってくるものにやっぱり惹かれる。チグハグだけど、でもその中に作り手の美意識を感じるもの。前に比べてそんなにZINEを買っていないけど、最近でも「これ！」と言えるZINEにも出会ったりして、ときめいたりしてる。そういうことは、これからもずっとやっていきたいな。

